

科目名	社会心理学	科目コード	1177	単位数	2
担当者名	細野 昌和	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次

● **授業のねらい**

複雑な現代社会において、とりわけ職場や学校といった社会集団と個人との関係の理解は、その構成員である個人にとってより重要な意味を持つようになってきました。ここでは、学問的に広い領域を持つ社会心理学の中で、特に個人と集団、個人と情報の関係について扱います。

● **到達目標**

日々飛び交う雑多な情報にさらされながら、社会集団の中で人々はどのように行動するものであるかを理解し、その構成員として、社会集団を好ましい方向に導くよう行動できるようになることを目指します。

● **授業内容**

- 1週目 講義の進め方と方針に関するガイダンス
- 2週目 個人と集団の生産性
- 3週目 リーダーシップ
- 4週目 状況即応理論
- 5週目 集団意思決定、小テスト
- 6週目 内集団ひいき
- 7週目 集団間葛藤
- 8週目 囚人のジレンマ、小テスト
- 9週目 社会的ジレンマと協力
- 10週目 マスコミュニケーションによるフレーミング効果
- 11週目 議題設定機能とプライミング
- 12週目 議題設定機能の社会的影響力、小テスト
- 13週目 文化指標プロジェクトと培養理論
- 14週目 培養理論と主流形成
- 15週目 沈黙の螺旋仮説、期末試験
- 16週目 沈黙の螺旋仮説への批判（ただし、止むを得ず15週までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行います）

● **準備学習(予習・復習)等の内容**

原則としてテキストに沿って授業を進めるので、該当する箇所を事前に読んでおくことが必要です。また、授業で扱う内容が、日常のどのような場面に相当するのか具体的に想定することが理解につながります。授業後、復習内容をCoursePowerなど学内LANで公開するので自分のノートと比較し学習すること。

● **成績評価の方法・基準**

提出ノート、小テスト、試験またはレポートを得点化し総合して評価します。
 なお、小テストの時期、回数は授業の進捗状況によって変わることがあります。

● **履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法**

授業でノート用紙を配布し、各自が記入したものを回収しチェックします。授業内容を整理し、それをノートとして記述記録することで理解を深めることを重視します。なお、遅刻は欠席の1/2と扱います。

● **テキスト**

山田一成他編著『よくわかる社会心理学』ミネルヴァ書房 2,500円+税

● **参考書**

A・ファーナム著『すべては心の中に』北大路書房 2,600円+税

● **更新日付**

2019/02/02 05:14